

# 令和4年度事業計画書 <白楽荘みくに湊・短期入所生活介護>

**テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と  
人材の確保に努める**

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

**サブテーマ：入所者の思いに寄り添い信頼関係を築き、職員が能力を発揮できるような働きやすい  
環境整備に努める**

## 1. 入居者の安心と安全なサービスを提供する（入所）

- ①入居者・家族の思いに寄り添い、訴えを傾聴し、一人ひとりが居心地良く、快適な生活が送れるようサービスの提供を行う。
- ②感染症や災害の発生を想定し、必要なサービスが安定的・継続的に提供できるようマニュアル化し、業務継続計画（BCP）を作成、実行する。また、定期的な訓練を行い、福祉避難所として体制を整備する。
- ③「虐待の芽摘みチェック表」を使用、記入することにより、月に1度は職員同士で確認し合う機会を設け、ケア者自身がケアを振り返り、接遇力やサービスの質の向上に努める。

## 2. 地域との信頼関係を築き、安心して在宅生活が継続できるように支えていく（短期）

- ①他職種との連携を密にし、家族や利用者の希望に沿ったサービスを提供する。
- ②「持ち込まない、広げない」よう感染予防を徹底し、毎日の健康チェックシートの記入と確認により、異常の早期発見に努める。
- ③利用者の状態を把握し、関わる中での気づきや情報を職員間で共有し、リスクの軽減より事故防止に努める。
- ④在宅生活が継続できるよう、残存機能の維持や向上、できる事を継続していけるような環境作りに努める。

## 3. 風通しが良く、魅力ある職場を作り、職員が働きやすい環境を作る

- ①WEB会議を活用し、計画的に施設内・外研修に参加促し、管理者研修の充実や、施設内における実務者資格取得のサポート体制を整え、職員の資格取得、資質向上を目指す。
- ②腰痛帯の購入や自動体交マットを活用し、業務の見直し・改善を行い、職員の身体への負担軽減や、労働環境の改善に努める。
- ③職員面談を行い、日々の悩みや思いを確認し、ストレスケアの体制を整え、一人一人が働きやすい環境を作る。